



平成 30 年 10 月 24 日
BELCA-YR-0006 (変更)

優良補修・改修工法等 評価書

株式会社 ホリ・コン 代表取締役 堀 宏一朗 様
大和ライフネクスト株式会社 代表取締役 石崎 順子 様

公益社団法人ロングライフビル推進協会の優良補修・改修工法等評価事業実施要領に基づき、次の工法について、「経済性」、「施工性」に関して特に優れていると評価する。なお、当該工法は「ハイブリッドクイック工法(DS ハイブリッドクイック工法)」として平成 29 年 10 月 2 日に評価した。今回、平成 30 年 10 月 11 日付の「変更」依頼に基づいて変更内容の確認を行ったが、この変更においても当初の評価内容に影響がないことを確認した。

評価対象技術 : ハイブリッドクイック工法 (D'sハイブリッドクイック工法)

公益社団法人ロングライフビル推進協会

会長 押 味 至 一

記

1. 技術の概要

建築物、土木工作物の仕上げタイル面もしくは下地モルタル面の浮き部の保全のため、コンクリート用ドリルビットを装着した MF-1 ドリル (湿式超低騒音ドリル【ハイブリッド仕様】) にて、当該タイル面もしくは下地モルタル面を低騒音・低振動・無粉塵で孔内洗浄と並行しながら穿孔し、更には特殊ノズルを装着した手動樹脂注入器にてエポキシ樹脂を孔最深部より空気溜まりを発生させることなく確実に充填し、しかる後にキャップ付きステンレスピンにて当該タイル面もしくは下地モルタル面を拘束し、尚且つ空隙部に樹脂を拡散させて浮き部を固定する工法。

2. 適用範囲

タイル張り仕上げ壁 (大型タイルを除く) の構造体コンクリート表面に、手張り工法又は打ち込み工法によって仕上げられた壁仕上面で、タイル表面から構造体コンクリートまでの距離が、ステンレスピンの長さから 30mm 減じた数値以内であること。

3. 評価の結果

当該技術が「優れている」という評価を取得して概ね 5 年以上が経過しており、かつ評価取得後に当該技術を用いた十分な使用実績があることについて提出された資料を確認した。あわせて、当該技術が当初評価申請後から性能の低下を及ぼす変更がないこと、品質保証を適正に実施していることを提出資料から確認し、「経済性」、「施工性」に関して特に優れていると評価した。

<参考: 当初「優れている」と評価した内容>

経済性 : 孔内側壁部及び空隙部の洗浄、ピンニング仕上処理等の工程が不要のため、施工日数の短縮化、仮設費、諸経費等の軽減が図れる。

施工性 : MF-1 ドリル (湿式超低騒音ドリル【ハイブリッド仕様】) は、確実な洗浄同時施工するため、孔内側壁部及び空隙部の粉塵除去がなされることから、接着力の信頼性の向上に繋がり、また、孔の清掃工程が不要である。

- MF-1 ドリル (湿式超低騒音ドリル【ハイブリッド仕様】) は、低騒音で穿孔するため、建物を使用しながら施工でき、施工日、施工時間の制約が少ない。また、低振動で穿孔するため、穿孔によるタイルの破損、建物構造体の損傷等の悪影響が少ない。
- 特殊注入ノズルによる穿孔最深部よりせり上げ樹脂注入 (空気溜りを防止できる樹脂注入) を行い、建築改修工事監理官に沿った確実なエポキシ樹脂の注入ができる。
- 低騒音、低振動であり、また、確実な粉塵除去を行なうため、施工時の在館者及び周辺居住者等に対する環境への配慮がなされている。
- MF-1 ドリル (湿式超低騒音ドリル【ハイブリッド仕様】) と冷却水供給タンク及び電動バキューム装置との連動により、圧力の安定と作業員の負荷の低減が図られている。

4. 評価の前提及び評価の範囲

提出された資料には事実に反する記載がないものとする。また、評価は、依頼者より提出された提出資料により確認した範囲とする。

5. 評価の有効期間 2018 年 10 月 24 日～2022 年 10 月 1 日 (当初評価時点から 5 年とする)